

■コメント

1. インフルエンザ

定点医療機関からの報告数は334人(定点当たり9.03人)と急増しました。次週には注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えていると予測されます。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が、第3週に3件報告されています。

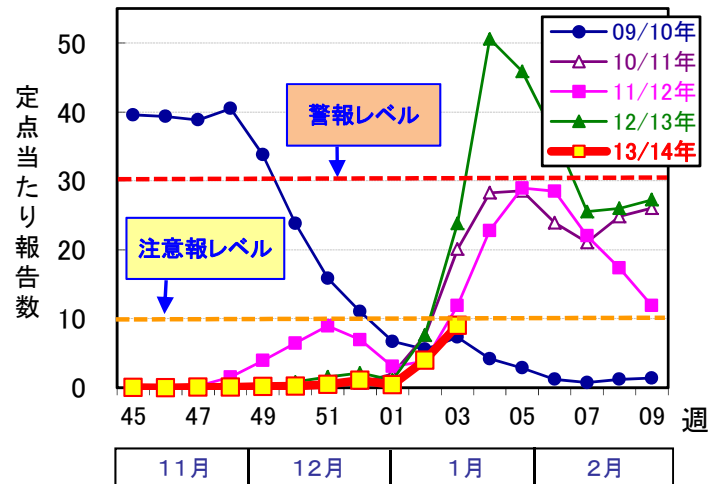
寒い日が続いていますので、体調管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケット、適度な湿度(50～60%)の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり13.2人と、多い状態が続いています。

集団生活の場では、手洗いの徹底や便・吐物の適切な処理など、感染予防対策が重要です。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年)	発生記号
小児科	インフルエンザ	334	9.03	17.41	↑	小児科	流行性耳下腺炎	6	0.25	0.52	↓
	咽頭結膜熱	4	0.17	0.26	↓		RSウイルス感染症	15	0.63	0.52	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.88	1.39	↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	317	13.21	11.54	↔		流行性角結膜炎	3	0.38	0.48	
	水痘	25	1.04	1.61	↓		細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.12			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.32			マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.37	
	突発性発しん	8	0.33	0.45			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	-							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	7	女性(40歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第51週 第52週 第1週 第2週 第3週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス)	感染性 胃腸炎
			18	34	33	360	37	-	-	15	-	-	15	27	-	5	-	1	1	-	-	-
定 点 当 た り	広島市	第51週	39	24	20	357	64	3	-	6	-	-	14	25	-	3	-	-	-	-	-	-
		第52週	15	5	15	101	19	-	-	3	-	-	8	12	-	3	-	2	-	-	-	2
		第1週	143	26	27	326	52	1	-	6	-	-	21	12	1	5	-	1	2	-	-	-
		第2週	334	4	21	317	25	-	1	8	-	-	6	15	-	3	-	-	4	-	-	-
		第3週	0.50	1.48	1.43	15.65	1.61	-	-	0.65	-	-	0.65	1.17	-	0.63	-	0.14	0.14	-	-	-
	全国	第51週	1.08	1.04	0.87	15.52	2.78	0.13	-	0.26	-	-	0.61	1.09	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第52週	0.44	0.24	0.71	4.81	0.90	-	-	0.14	-	-	0.38	0.57	-	0.43	-	0.33	-	-	-	0.33
		第1週	3.97	1.13	1.17	14.17	2.26	0.04	-	0.26	-	-	0.91	0.52	0.13	0.63	-	0.14	0.29	-	-	-
		第2週	9.03	0.17	0.88	13.21	1.04	-	0.04	0.33	-	-	0.25	0.63	-	0.38	-	-	0.57	-	-	-
		第3週	2.16	0.24	0.55	4.26	1.25	0.08	0.03	0.15	-	0.01	0.15	0.59	-	0.23	0.02	0.02	0.10	-	-	0.07
		第2週	5.51	0.52	1.62	10.96	2.17	0.09	0.13	0.46	0.01	0.02	0.31	0.84	0.01	0.85	0.02	0.04	0.27	0.03	0.08	0.08

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱 髄膜炎 関節痛 筋肉痛	12	男	2014/01/03	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.1) インフルエンザ様症状	43	男	2014/01/07	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.9) インフルエンザ様症状	1	男	2014/01/08	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.5) インフルエンザ様症状	24	男	2014/01/09	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザ報告数及び迅速診断キット検出数

インフルエンザの報告数は、昨年の第52週に定点当たり1.08人と流行開始の目安である定点当たり1.0人を超え、年末から年始にかけての第1週は医療機関の休診が多かったため減少したものの、第2週以降は大きく増加しています(図1)。

また、基幹病院(2か所)における迅速診断キットのインフルエンザウイルス検出数は、いずれの週もA型が多く、第3週の型別内訳は、A型が244人、B型が14人と、A型の割合が94.6%となっています(図2)。

なお、広島市衛生研究所による検査結果では、今シーズン(9月以降)は、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型とインフルエンザウイルスA(H3)型が検出されています。

図1 インフルエンザ報告数

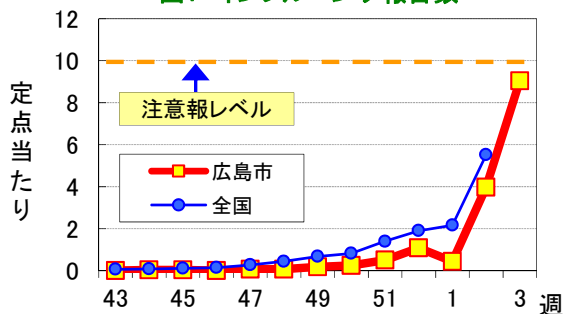
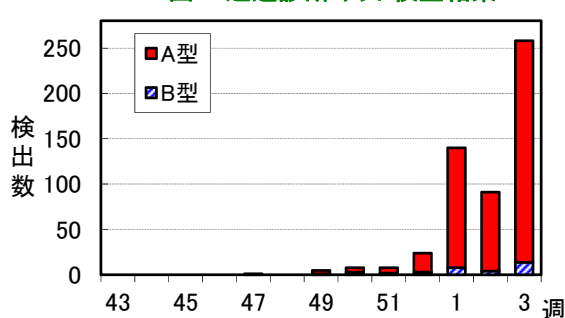


図2 迅速診断キット検査結果



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第3週(1月13日～1月19日)